

お子さんの耳の聞こえの検査について

大きな音がしても、大声で呼んでも、ほとんど反応しないほどの重度の難聴のお子さんは、比較的早く周囲の人が気付きます。

しかし、軽度から中等度の難聴のお子さんの場合は、少し「ことば」が遅いとか、ぼんやりしているといった形で見過ごされることが多く、そのままにしていると、ことばや心身の発達に重大な影響を及ぼします。

したがって、聞こえの状態を調べる必要があります。そのため、アンケートに記入されるとともに、ご家庭で次の2種類の検査をして、お子さんの耳の聞こえの状態を確認しましょう。

- 1 指こすりによる聞こえの検査
- 2 「ささやき声」によるきこえの検査

この2種類の検査は、難しいものではありませんが、「正確に」行うことが必要です。

とくに「ささやき声」を正しく出すことが大事です。

裏面の「家庭での聞こえの検査のお知らせ」をよく読んでから検査をして、その結果を記入し、3歳児健康診査の日にご持参下さい

※この問診票は、お子さんの健康を管理する目的以外は使用されません。